**内灘町環境審議会は下記の内容で行われました。**

日　　時　　平成２７年７月２２日（水）　午後２時から午後３時３０分

場　　所　　内灘町役場　４階　４０６・４０７会議室

出 席 者　　・委　員　鈴木委員、松岡委員、吉村委員、西田委員、金井委員、大谷委員、源　委員、生田委員、中　委員、谷井委員、中村委員

計１１名　欠席　なし

・事務局　大徳町民福祉部長、本 環境安全課長、堀川課長補佐、

川本総括主査、組村主事、夷藤主事

委嘱状の交付

副町長挨拶

会長・職務代理者の選任

○会長　　　　鈴木克徳　氏

○職務代理者　松岡義和　氏

議件１．内灘町環境基本計画の概要について

議件２．内灘町環境基本計画の進捗状況について

議件３．平成27年度環境関連予算について

議件４．報告事項

委員から出された主な意見の概要

**生ごみ処理機等の助成について**

委　員　ディスポーザーは下水に負担がかかるので、助成対象から外してほしい。コンポストは複数個必要なので、1度コンポストの助成を受けると3年間助成は受けられないという要綱を撤廃し、1人2個まで助成を認めてほしい。生ごみ減量について検証してほしい。

事務局　助成金要綱の内容について検討する。

**空き缶回収機について**

委　員　以前、役場に商業振興協同組合の空き缶回収機が設置されていたが、回収機が

撤去されサンセットカードのポイント制度を利用できなくなったが、常設リサ

イクルへの持ち込み量は増えているか。

事務局　検証する。

**環境基本計画について**

委　員　環境基本計画の今後10年後の目標はあるのか。

事務局　具体的な数値はまだ立てていない。

会　長　これから審議会委員のみなさんで、次期の計画については、住民の意見が反映

　　　　されるように指標等を見直しできればよい。子供達へ環境教育に取り組むなど

　　　　住民の意識改革も必要である。

**クロマツの保全について**

委　員　松くい虫の被害から守るために、神社や公園のクロマツに対し大根布区で年間

35万円程かけて消毒等をしている。伐採するにも費用がかかる。枯れてから

では遅い。町で対策しないのか。

事務局　検討したい。一部町では樹液注入を行っている。

**地下水、地盤沈下について**

委　員　潟側では地盤沈下しているようだが、金沢市では、地下水利用について（消雪

井戸等）対策を考え始めている。内灘町では何か対策を講じているのか。県や

近隣市町との連携はしているか。

事務局　情報収集し、連携していきたい。

**室地区湧水について**

委　員　北部開発が進んだことが影響しているのではないか。ダイレクトに降水量の影響を受けている。アカシアが枯れるなど、町は砂漠になりつつある。砂丘地の緑化について考えていかなければならないと思う。

**温泉スタンド廃止について**

委　員　レジオネラ菌が、ほのぼの湯で検出されたと誤解されないように説明して欲しい。

事務局　福祉センターでも滅菌して、循環させる部分でも滅菌しており安全のため二重の措置をしている。

**地球温暖化防止について**

委　員　役場庁舎の二酸化炭素排出量削減のための節電等のエコオフィス活動は、もう

限界ではないか。公共施設であり住民サービスの低下につながらないか。

事務局　町として地球温暖化防止に取り組む姿勢は大事であり、継続して取り組みたい。

**町民1人あたりの電力消費量について**

委　員　町民1人あたりの電力消費量が急に増えたのはなぜか。

委　員　エコキュート、オール電化を導入する家庭が増えたためではないか。また、家

電の種類が増えたこと、各家庭におけるエアコンやテレビの台数の増、家電の

大型化などが考えられる。

**環境パートナーシップ会議(仮称)について**

委　員　環境基本計画概要版の計画推進体制図に、「うちなだ環境パートナーシップ会

議(仮称)」とあるが、どのようなものか。

事務局　現在、環境パートナーシップ会議（仮称）は無く、設置等については検討したい。